

歌津の観光について語る夕べ開催報告書

- 1 催 事 名：歌津の観光について語る夕べ（第1回）
- 2 日 時：令和8年6月12日（金）午後6時から午後8時20分まで
- 3 場 所：歌津公民館（南三陸町歌津字管の浜60番地）
- 4 町出席者：4名
副町長
歌津総合支所 支所長
商工観光課 課長
商工観光課 課長補佐
- 5 出席住民：44名

午後6時開会

（町）

皆様、本日は、お忙しいところお集まりをいただきありがとうございます。ただ今から、歌津の観光について語る夕べを開催いたします。開会にあたり、副町長が挨拶を申し上げます。

（副町長挨拶）

（町）

ありがとうございます。続きまして、歌津地区の観光を取り巻く現状について説明いたします。観光客の入込客数や人口動態等を共有いたしますので、今後の意見交換の参考にしていただければと思います。

（町がパソコンを用いて歌津地区の観光を取り巻く現状について説明）

（町）

ここからは、ご参加いただいた皆様から様々な意見をいただきたいと思います。先ほど説明した現状に対する感想でも結構ですし、日頃から感じている観光面での課題や気になる点など、率直なご意見をいただければと思います。ご発言がある方は挙手でお知らせください。

（住民）

今の映像を見て、改めて歌津地区の人口が減ってきていること等を実感した。歌津地区に観光交流施設の建設を検討していただいていることはありがたいことだと思っているが、町として、その施設を建設し、どのように活用していくのかといった利用計画等があるのかどうかをお聞きしたい。

加えて、歌津地区には平成の森といったスポーツ総合施設があり、これを活用した宿泊もできるし、化石発掘については、平成の森を起点とし、館浜等を経由する周遊ルート等も実施するこ

とができるので、既存の施設や資源と結び付けた施設建設を考えてもらいたい。

(住民)

施設を建設するとなった場合、東日本大震災の津波で被害を受けた場所に建設するのか。また、次に同じような災害が発生した際に流失してしまうことが考えられる。

もし、施設を建設するとなった場合は、ここは海の町なので、釣り堀等を設置した複合的施設を建てるべきだ。また、ウニを食べにくるお客さんは結構いるので、一年中、安価な価格でウニが提供できたり、子ども向けに100円で遊べるガチャガチャを設置し、大人な向けには300円から500円で遊べるガチャガチャを設置する等、遊び心がある施設を建設するのもいいのではないかな。

(住民)

観光客の方々は町に来て、帰っていくので、他市町村でもやっているように婚活ツアー等を実施して、地元若い人が定住するような取組を行っていただきたい。観光交流施設の建設がいつになるかは分からないが、これが完成する時期に合わせて婚活ツアーを実施するのも良いと思う。

(住民)

海の町や海産物等の様々な話が出たが、それに付随して、トレイルコースに観光交流施設を見ながら歩くコースや化石を発掘したり、歌津地区の良いところを探索できるコースを設けるのも良いのではないかな。例えば、田の浦から県道沿いを歩いて泊浜を経由して管の浜に行くようなコース。

歌津地区の中心地は伊里前だと思う。最近では、キャンピングカーで犬を連れてきている愛犬家が多いので、賑わい創出のためにハマーレの空き地にドッグランを作るのもいい。

(住民)

現在、高速道路が発達しているので、三陸自動車道を利用する方々が、いかに歌津インター等で降りてもらうのかを考えなければならない。上品の郷というのが石巻市にあるが、そこには入浴施設がある。三滝堂インターでは様々な物が販売されている。道の駅大谷海岸はマンボウで有名である。温泉等の施設があれば、多くの人に立ち寄っていただけるのではないかな。まず、歌津の存在を知ってもらうところから始める必要がある。

(住民)

色々な意見が出たが、私自身、80歳になる。その間、町の流れを見てきた。合併からちょうど20年が経過したが、失われた20年と言う人もいる。志津川地区と歌津地区との格差があまりにも激しく、これは行政の責任である。しかしながら、今後の明るい希望は歌津地区への観光交流施設建設だと思っている。施設を建設するうえで、直売所等も含めて町民の方々が利用でき、漁業の町であるので、漁業をメインとした海産物などを取りそろえていただきたい。また、既存の施設とこれから建設する施設をうまく活用し、あまりお金のかからないように取り組んでもらいたい。

歌津地区は田東山のツツジが有名であり、開花のピーク時に町がイベント等を開催していた。

それが、現在ではほとんど、できなくなっている。当時はある程度の人口がおり、それから比べれば、今は、がっかりするほど減少している。それを踏まえて今後どのように取り組むべきかを皆で考えていく必要がある。

(住民)

今年は、ツツジの開花が思わしくなかった。ある程度、間引き、剪定、消毒といった管理を徹底していかなければならない。田東山のツツジを見るために毎年多くの観光客が来ているが、案内看板が少ないが故に、迷う方がいる。観光客が迷わないように、しっかりとした看板を設置していただきたい。

(住民)

観光交流施設を建設するうえで、何か仕掛けをしないと人は集まらない。入谷地区で例えると、オクトパス君神社に参拝すれば合格祈願になるし、石巻市の釣石神社で参拝するのも合格祈願になる。何かそういったものを取り入れるのが良いのではないか。加えて、建物を建てるとすれば、化石の展示、食べ物が食べられる等、一体化したものが必要だ。

(住民)

先ほどから、観光交流施設の話が出ていたが、私も道の駅のことについて考えてきた。東日本大震災以前は、魚竜館があった時は、自分が食べる物や知人に送りものをする際は頻繁に利用していた記憶がある。魚を購入して食べるのも、可能であれば歌津地区で獲れたものを食べたいと考えている。かつて、管の浜地区あたりに、産直所があり、そこで魚や野菜が販売されていた。歌津地区は海の町でもあるが山の町でもあるので、みんながみんな同じ作物を育てているわけではないし、様々な物が販売されている施設が望ましい。その他にも、3年程前にハマーレ広場が完成したと思うが、その公園に、子ども達が集まるようになった。ただ晴れた日は親子連れの方がいるが、雨の日は誰もいない。これを踏まえて、子ども達が遊べて、魚竜化石等の様々なことを通じて学べる、食べられる、体験できるといった施設が望ましい。特に食べられるというのは、開口等に行く家庭は、自ら、海産物を捌くことができるが、漁業に従事していない家庭では、その体験自体ができないので、それが貴重な体験になるのではないかと思う。

(住民)

復興支援の関係で九州の大牟田、兵庫の宝塚、埼玉の川口からボランティアで手伝いに来てもらったことがある。それで漁業の手伝いをしたいという声があったので、馬場地区や中山地区に行き、ワカメの芯抜作業や種はさみ作業をしていただいた。特にメカブとかワカメをお湯を通して茶色のものが緑色に変わった時には多くの方がびっくりしていた。色々な体験教室等を実施することで、多くの人が集まるような気もする。

(住民)

私は歌津地区だけではなく志津川地区、入谷地区、戸倉地区のいろんな地域の特徴や資源を生かしながら集客につなげていくという活動をしてきていました。その中で感じていることは、歌

津地区は他の地区に負けなくらい、資源がある。それをどのように生かしていくかがポイントになる。歌津地区を盛り上げていくのにはどうしたらいいかということをいろいろ考えてきたのでスライドの方で発表したいと思う。

(スライドを用いて企画案を発表)

(住民)

私は志津川地区に住んでいるが、歌津地区の外側に住んでいる立場として話をする。歌津地区は、世界的に誇る化石があるにも関わらず知名度があまり高くない。知名度を上げるためにも、教育的な取組が必要だ。

震災からの復興で志津川地区のまちづくりに携わったこともあるが、町民の意見を聞き、合意形成を図っていくことが大事だ。観光交流施設の建設にあたっては万全な準備をしていただき、失敗がないように、プロの視点も交えつつ取り組んでもらいたい。

(住民)

率直なことを言えば、化石と観光は両立しないと考えている。宿泊客の中には化石だけに興味を持ち来る方がおり、それ以外には関心が無い方もいる。それを踏まえれば、物販等は取り入れず化石一本でいくべきだ。全国の学者が集まりフォーラムを開催するような施設を作って欲しい。そうすれば、メディアに取り上げられ、全国的にも発信され知名度が上がるのではないだろうか。

(住民)

歌津地区で飲食店を経営しているが、お客様からは、ホヤはどこで購入することができるのか。生魚を購入する場所はあるのかといった質問が寄せられ、答えに戸惑ったことがある。歌津を目的地に来る人よりかは、通過していく人が多いので、そういった方々に対するサービスの提供が必要。この前、群馬県にある、自動販売機の聖地と呼ばれる場所に行ってきた。そこは山の奥にある場所ではあったが、24時間、うどんやそばを食べることができ、訪問者の名刺を貼ったり、訪問者の感想を記すためのノートが設置されていた。例えば、私の店では、午後2時で昼の部が終了し、午後5時から夜の部として開店するが、午後2時から午後5時までの間で、気軽に立ち寄って休憩するスペースがあると、旅をする人にとっては最適であると思う。また、近くにハマーレ広場があるが、子どもをハマーレ広場で遊ばせている間に、親御さんたちがハマーレ歌津で休憩できる開放された空間があればいい。加えてになるが、以前、兵庫県に行った際に、5日程かけて沿岸沿いを帰ってきたが、その際、3泊ほど車中泊した。それを踏まえると体が洗える施設や車中泊ができる施設があればいい。関西方面や関東方面で見た車中泊向けの駐車場は駐車スペース1台を8時間500円で貸し出して、シャワーは自由という形式だった。このようなアイデアもありだと思う。最後に、陸前高田市と名取市の閑上地区にバイク乗りが聖地として参拝するバイク神社があるが、取得届出が容易であるので、三嶋神社もそのような形で活用するのも良いのではないだろうか。

(住民)

本日ここにいる皆さんは、恐らく、歌津地区に観光交流施設が必要であるとの認識を持ってい

ると感じた。詳細についてはこれから決めていくことになると思う。観光交流施設は必要な施設であると私も感じており、今日の集まりでは色んな意見があったのは非常に良かったが、最終的には、誰が運営していくのかといった問題がある。これまで、商売をやってきて、現実は厳しい。現実を見ないと夢物語で終わってしまうので、水産業や農業等のプロの方が入った委員会を設立し、そこで精査をしていただいて、話を進めてもらいたい。

(住民)

観光業に携わる者として、地域の競争が激化していることを強く感じている。化石発掘を通じた教育的価値と観光的価値の両立が重要であり、実際に多くの観光客を呼び込む成果を上げている。地域全体で協力し、他の自治体との競争に立ち向かう必要があると思う。

(町)

本日は、たくさんのご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。今後検討委員会になるものを立ち上げて整備検討を進めて歌津地区の観光振興に向けた具体的な施策を講じていきたいと思います。また、今後の状況につきましては、町のホームページ等を通じてお知らせするとともに、会議結果も公開していきますので、引き続きご関心いただければと思います。

午後 8 時 2 0 分終了

